

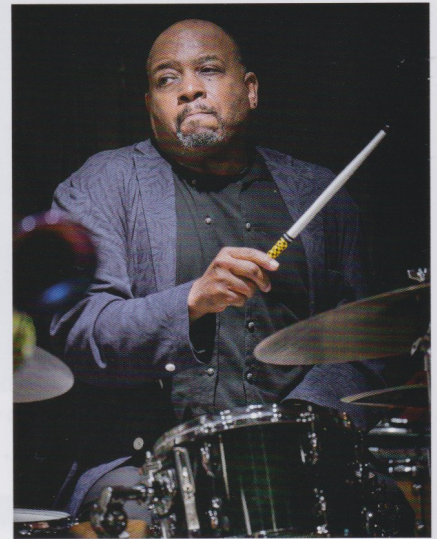
渋谷公園通りに移転して再オープンした“Body & Soul”に 井上智がニュー・プロジェクトで登場！



Satoshi Inoue
井上 智 (g, ldr)



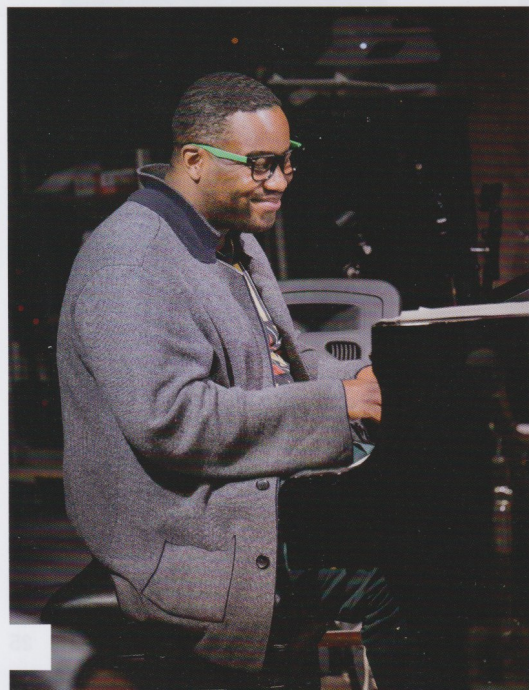
Kengo Nakamura
中村 健吾 (b)



Gene Jackson
ジーン・ジャクソン (ds)



Hikari Ichihara
市原ひかり (tp, vo)



David Bryant
デヴィッド・ブライアント (p)



Kazuhiko Kondo
近藤和彦 (as, ss)

Satoshi Inoue "Tribute to Jazz Masters"

@ Body & Soul, Shibuya on November 15, 2021

■ 関連サイト

Big Apple In Nonoichi
<https://bigapple.nono1.jp/>

Body & Soul
<https://www.bodyandsoul.co.jp/>

1992年から東京・南青山で、日本の最先端のジャズを発信し続けていたジャズ・クラブ“Body & Soul”が、10月に渋谷公園通りの、南青山店の倍のキャパシティを持つスペースへ移転し、再オープンした。オープニング・ウィークに、小曾根真(p)、伊藤君子(vo)らを迎え華々しいスタートを切る。新生“Body & Soul”に初登場した、井上智(g)のニュー・プロジェクト“Tribute to Jazz Masters”がプレイした一夜をお伝えしよう。



SET LIST

1st set

1. **Ginger Bread Boy** (Jimmy Heath)
2. **Alter Ego** (James Williams)
3. **Waltz New** (Jim Hall)
4. **What a wonderful world** (George Douglas)
5. **Bimini** (Jim Hall)

2nd set

1. **Jean de Fluer** (Grant Green)
2. **Peace** (Horace Silver)
3. **Simone** (Frank Foster)
4. **Moody's Mood for Love** (James Moody)
5. **Jubilation** (Junior Mance)

Encore

- Nascimento** (Barry Harris)

注：()内は作曲者

1995年から毎年秋にジュニア・マンズらとコンサート、クリニックを開催

“Body & Soul”のオーナーの関京子氏が、新宿歌舞伎町でジャズ・クラブ“タロー”をオープンしたのは1965年のことだった。1974年に移転して“Body & Soul”となり、新宿百人町、六本木、北青山、南青山と、拠点を移しながら50年以上にわたって日本のジャズ・ライブ・シーンを支えてきた。

「南青山よりも、若者の多い渋谷公園通りで、朝から店を開け、若い才能の台頭が著しい今のジャズ・シーンの中で、若手にも演奏の場を提供し、さらに若い客層へとつなげたい」と、京子ママは、その熱い情熱を語った。

井上智は、ニューヨーク在住時代の1995年から、毎年秋に石川県野々市市で開催されるジャズ・フェスティバル“Big Apple In Nonoichi”の音楽監督を務め、ジュニア・マンズ(p)、ジミー・ヒース(ts)、バリー・ハリス(p)、ジェイムス・ムーディ(ts,fl,vo)ら、巨匠たちを招聘し共演、クリニックを開催してきた。

昨年のジミー・ヒース、今年のジュニア・マンズの計報を受け、彼らが野々市に刻んだ足跡を遺すべく、近藤和彦(as,ss)、市原ひかり(tp,vo)、デヴィッド・ブライアント(p)、中村健吾(b)、ジーン・ジャクソン(ds)を結集し、オール・スター・ユニット“Tribute to Jazz Masters”を結成。11月21日の野々市市でのコンサートの前に、東京で行なったギグが、この夜だった。

セット・リストには、井上が野々市でジャズ・マスターたちと共演した思い出の曲や、井上の恩師ジム・ホールの曲が並ぶ。井上とBig Apple In Nonoichiが招聘するアーティストは、ディジー・ガレスピー(tp)らからセッションや共演を通じて、ジャズの伝統を口承伝授で受け継いできた、いわゆるオールド・スクール・スタイルのアーティストが多い。井上自身も彼らから実戦で鍛えられてジャズの伝統のエッセンスに触れてきた。

「野々市でのクリニックで、ジュニア・マンズはプラス・バンド出身で、ジャズを知らない若い世代にも、辛抱強く彼ら自身がコードの動きを感じることができるようになるまで教えた。バリー・ハリスのジャズの伝道師としての使命感に、感銘を受けた」と、井上は語る。中村、ジャクソン、ブライアントらニューヨークのジャズ・シーンでも活躍したメンバーも、オールド・スクールの薫陶を受けている。

セカンド・セットで野々市を訪れたジャズ・マスターズへさらにフォーカス

ファースト・セットは、ジム・ホールのオリジナルが2曲フィーチャーされた。ホールが生前最後のコンサートでもプレイしていた愛楽曲「Waltz New」では、途中ピアノ、ドラムスがオフになり、井上と中村の繊細で美しいメロディアスなデュオとなった。

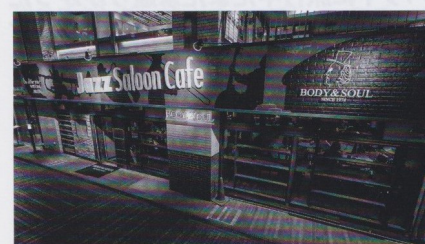
「Bimini」は、ホールとミシェル・ペトルチアーニ(p)、ウェイン・ショーター(ss)の「Power of Three」からのチューン。井上のギターをかき鳴らすバックキングに乗って、

それぞれが自由奔放に解き放たれた。

続くセカンド・セットは、野々市を訪れたジャズ・マスターズへさらにフォーカスされる。フランク・フォスター(ts)がジョン・コルトレンにインスパイアされた「Simone」では、近藤とジャクソンが、火を拭くような熱いバトルを聴かせてくれた。ジェイムス・ムーディのソロに歌詞をつけた「Moody's Mood for Love」は、市原が表現力豊かなヴォーカルで挑む。

エンディングは、ジュニア・マンズの書いたゴスペル・タッチの「Jubilation」。アンコールは、バリー・ハリスのエンディングの定番曲だった、ブラジリアン・リズムの「Nascimento」。井上が観客を手拍子へとリードし、一体となった盛り上がりの中で、幕を下ろした。

11月21日の第27回Big Apple In Nonoichiでのコンサートも、大盛況で終了したと言う。2022年の秋は、アメリカから新たなジャズ・マスターを迎えたコンサートを期待したい。



ライブハウスの老舗“Body & Soul”は、10月10日から渋谷駅からNHK放送センターに続く渋谷公園通りの、新ハルコの先、渋谷公会堂の手前にある渋谷ホームズという名のビルの地下に移転し、再オープンした。